



令和8年度 山形市立大郷小学校の学校経営について

1 学校教育目標

『自立と共生 誇りと信頼』

《自立》『子供も教職員も学び続ける学校』

…自立した学習者」として学び続け、持続可能な社会の担い手を育成する

《共生》『自他のいのちを大切に作る学校』

…「共生社会」実現の一員としての学びや心の成長を支える

《誇り》『地域を愛し、誇りにする学校』

…地域で学びを通して、大郷の良さを理解し、大郷を愛する心を育てる

《信頼》『応援され、支援される学校』

…誰一人取り残されず、個々の個性を尊重する学びの実現が生み出す頑強な絆づくり

2 めざす子供の姿

『こころゆたかに かしこく たくましく』

《こころゆたかに》正義が通る集団をつくり、相手を思いやり、自他を大切に作る姿

《かしこく》学ぶことの意義や楽しさを知り、自ら進んで学ぼうとする姿

《たくましく》仲間と共に高め合い、学び合う活動の喜びを知り、次の学びへと前進する姿

3 経営方針

(1) 自立

○カリキュラム・マネジメントによる「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業づくりに取り組む。

○「子供主体の学び」の実現に向けて、校内研究の充実を図る。

(2) 共生

○自他のかけがえのない「いのち」を大切に。心身ともに、安全で健康な生活ができるように児童の自己管理能力を育む。

(3) 誇り

○地域とのかかわりを通して、地域を誇りに思い、地域に働きかける意識の醸成を図る。

(4) 信頼

○子供の学びと成長を地域・保護者・学校関係の方々と語り合い、一貫したぶれない姿勢を堅持することによって信頼関係を構築する。

(5) ウェルビーイングな学校づくり

○「幸せ・豊かさ・満足感」を子供・教職員・保護者・地域の全員が感じられるために、それが持続するために何ができるのか、何をしていくのかを全員が意識し、行動化する。

4 経営の重点

(1) 自立

①学力の向上と個別最適な学習の推進

②探究型学習の推進と授業改善

③ICTを活用した学習活動の充実

④多様な方法での表現活動の充実

⑤読み解く力をつける読書活動の推進

⑥特別支援教育の視点に基づく学習活動の推進

(2) 共生

①基本的な生活習慣の定着と適切なメディア利用

②「いのちの学習」の充実

③互いに良さを認め合い、支え合う人間関係づくりの推進・自他を尊重する言葉遣い

④危機管理意識の醸成と判断力の育成

⑤教育相談の充実

(3) 誇り

①地域を題材とし、地域の方々に教えていただく学習の時間の充実

②地域の良さや魅力を見つけ、実感できる学習活動の充実・「セブン・プライド」の推進

(4) 信頼

①保護者・地域への広報活動の充実

②家庭・地域との密接な連携強化

③学校運営協議会と協調した学校経営

《こころゆたかに》

→正義が通る集団をつくり、互いに相手を思いやり、自他を大切にする姿

「正しいことは正しい」

「美しいものは美しい」

「ダメなことはダメ」

「自分には居場所がある」

「全力で取り組む姿はカッコイイ」

「みんなでやると楽しい」

「大郷小での毎日が楽しい」

「みんな大切な仲間・友達」

「いじめや仲間はずれは許さない」



《かしこく》

→学ぶことの意義や楽しさを知り、自らすすんで学ぼうとする姿

「わかった」「できた」

「もっと知りたい」「もっと調べたい」

「やりきった」「丁寧に取り組んだ」

「前に勉強したことと関係がありそう」

「確かめてみよう」

「自分の考えについて、他の人と話してみたい」

「自分の発表を聴いて欲しい」

「自分でも調べてみよう」

「実際に調査や体験をしてみたい」

「仲間と一緒に学習したからここまでできた」

「勉強って楽しい」

「もっと練習したい」

「できることが増えた」「成長できた」



《たくましく》

→仲間と共に高め合い、学び合う活動の喜びを知り、次の学びへと前進する姿

「みんなで取り組むと楽しい」

「みんなで取り組んだから、自分もここまでできた」

「上級生になったから、自分がリーダーとしてがんばる」

「自分たちの生活をもっと良くしたい」

「取り組みの成果と課題は何だろうか」

「よりよい生活のためには何から取り組んだらいいのだろうか」

「自分もやってみたい」「もっとできることがある」

「来年はリーダーになってみたい」

「リーダーにはなれないけど、そのフォローやサポートならできる」

「これって、あの場面でも使えるんじゃないの？」

「前にやった、あの考え方が使えるそうだから、やってみよう」

